

基礎コンピュータ工学

第5章 機械語プログラミング

(パート6)

<https://github.com/tctsigemura/TecTextBook>

本スライドの入手：



条件判断の演習

1. プログラムの作成手順を再度確認

- (1) フローチャートを描く.
- (2) フローチャートを基にニーモニックを書く.
- (3) アドレスを決める.
- (4) 機械語を作る.

2. 演習

- (1) N 番地の値がゼロなら M 番地にゼロを, そうでなければ M 番地に 1 を格納するプログラム
 - LD 命令はフラグを変化させないので...
 - 前回の「条件判断 2」のパターンを利用
- (2) N 番地の値と M 番地の値で, 大きい方を L 番地に格納するプログラム
 - 値は符号付きの数値とする.
 - 比較は引き算でできる.